



打馬町内会の「どんぐり」「さくら」公民館の日の合同サロン



西原1丁目町内会のサロン「茶ロケーション」



野里町内会のサロン「中島女子会」



大浦町内会のサロン「さわやかサロン大浦」

地域で見守る 支え合う



近年、少子高齢化が進み、人口構成が著しく変化しつつあります。このことは、近い将来、社会環境に深刻な影響をもたらすとされています。このような中で、地域コミュニティや市民活動の重要性が改めて注目され、「自分たちの地域は自分たちでよくしていこう」という地域での取り組みが、各地で広がりをみせています。

今回は、近年の地域での見守りや支え合いなど実際に地域福祉活動が行われている3つの町内会の事例を紹介します。

少子高齢化の進行

今日、少子高齢化の進行や、高度情報化などの社会情勢の著しい変化などを背景に、地域が抱える課題や市民ニーズなどが複雑・多様なものになってきました。

中でも高齢化は、全国的な問題となつていますが、鹿屋市においても同様に進行しています。

下の表は、鹿屋市及び今回紹介する3町内会における、平成28年7月31日現在の住民基本台帳による統計です。鹿屋市全体の高齢化率は27%を超えており、町内会単位では寿2丁目町内会、富ヶ尾中央町内会のように高齢化率が既に30%を超えている町内会もあります。

世帯数及び人口、65歳以上人口、高齢化率の比較

	鹿屋市	打馬	寿2丁目	富ヶ尾中央
世帯数	50,290世帯	842世帯	475世帯	121世帯
人口	104,357人	1,805人	896人	229人
65歳以上人口	28,492人	348人	292人	88人
高齢化率	27.30%	19.28%	32.59%	38.43%

※平成28年7月31日現在（住民基本台帳による）
※統計情報の推計人口とは差異があります

高齢化は今後もさらに進行すると考えられています。

一般世帯総数に占める「独り暮らし高齢者世帯」及び「高齢夫婦世帯」の割合

	鹿児島県	鹿屋市
一般世帯総数	727,273世帯	44,260世帯
独り暮らし高齢者世帯	102,443世帯 (14.1%)	5,800世帯 (13.1%)
高齢夫婦世帯	95,610世帯 (13.1%)	6,006世帯 (13.6%)

※平成22年10月国勢調査確定値

また、平成22年10月の国勢調査における世帯構成をみると、独り暮らし高齢者世帯が5,800世帯、高齢者夫婦世帯が6,006世帯と、いずれも1割を超えており、今後この割合は増加すると予想されます。

地域を取り巻く環境の変化

地方においても、人々の生活様式や意識の変化に伴い、高齢者との同居率が低下し、別居化・核家族化が進行しています。そのため、昔の大家族のように家族で支え合うことは難しくなってきました。

また、少子高齢化の進行で、福祉ニーズも多様化しており、現行の公的サービスでは、住民が日常生活上で抱える課題全般を支えることに限界が生じています。

生活様式などの都市化が進むに連れて、隣人同士が疎遠と無関心の中で生活することが多くなつたことで、昔ほどの町や村にもあつた助け合いが失われつつあります。最近、多く耳にする孤独死や虐待、さらには、物があふれている時代の中で餓死するといったケースも、こうした状況を反映していると考えられます。

地域福祉活動への取り組み

このような中、今後さらに増大するであろう高齢化に危機感を抱き、地域の体制をそれぞれ

独自の方法で変え、対応策を講じようとする町内会がみられるようになりました。

今回一例として紹介する打馬町内会、寿2丁目町内会、富ヶ尾中央町内会、それぞれ人口や高齢化率等がまったく異なる町内会ですが、いずれも特色あ

打馬町内会

「支え合い」の仕組みづくり

打馬町内会では、町内会内に置かれている「福祉の会」のもとで、地域ぐるみで支え合う独自の仕組みをつくり、住民主体で取り組んでいることが特徴的です。

豊富で充実したサロン活動で外に出て学ぶきっかけをつくるとともに、公民館で作品展を開催することで、サロン活動での成果の発表・交流の場も提供しています。

そしてサロン活動に参加できない人には見守り活動が行われ、さらに認知症カフェや徘徊模範訓練も実施するなど、いずれも他の町内会に先駆けて実施した地域福祉活動です。

る町内会運営を行い、鹿屋市社会福祉協議会や地域包括支援センターなどの関係機関のアドバンスや支援を活用しながら、町内会として地域の福祉に対する課題に真摯に向き合い、独自の事業を積極的に展開しています。

ふれあいサロン活動

高齢者の社会参加や生きがいづくり、閉じこもり防止のため、打馬町内会では、対象者別に「どんぐり」、「さくら」、「公民館の日」、「オレンジろばさん」の4つのサロンが、月に1回、打馬公民館で実施されています。

「どんぐり」は、県内でも唯一とされる高齢男性サロン。平成18年に発足し、現在会員は15人程度。勉強会や野菜作り、料理教室などが開かれています。

「さくら」も平成18年に発足し、現在会員は20人程度。元氣な高齢女性が集まり、小物作りやお菓子作りを行っています。「公民館の日」は、体の不自由

な人が気軽に参加できるようにと、平成19年から始まったサロン。あやとりやカラオケ、かるたなどが催されています。「オレンジろばさん」は、認知症の人とその家族に、少しでもゆつくり過ごせる時間を作つてあげようと、平成27年から始まったサロンで、いわゆる認知症カフェです。現在、メンバーは認知症患者4人とその家族。このようなサロンを町内会単位で実施しているのは、大変珍しいことです。

なお「オレンジろばさん」を除く3つのサロン合同で、毎年12月にクリスマス会、3月には合同閉講式が行われています。閉講式では、一年間の努力を称えるとともに、来年度以降も自分のために参加して頑張ってもらおうと、出席者全員に「落第賞」という賞が贈られます。



高齢男性サロン「どんぐり」の洋服のたたみ方教室